



# 表彰状

2008年廣井賞(社会的功績分野)

(株)毎日放送ラジオ局殿

毎日放送ラジオ局は、阪神・淡路大震災以降14年間にわたり、震災報道番組『ネットワーク17』を、毎週放送してきました。この番組は「被災者に向けた、被災者のための、被災者の支えとなる」ことをコンセプトに、被災者の声や教訓を後世に語り継ぐとともに、防災のノウハウを社会に提供しています。このように長期にわたって防災番組を継続している例は全国的に見ても珍しく、とりわけ、番組の企画・取材・編集・放送等を一貫して実施してきた報道スタッフの尽力も高く評価されます。震災の記憶を語り継ぎ、新たな災害による犠牲者を一人でも少なくするよう、常に備えを呼びかけられていることは、減災社会の形成に大いに寄与しているものであり、災害情報分野における顕著な貢献であると認められます。

よって、ここに日本災害情報学会2008年廣井賞(社会的功績分野)を授与し、その栄誉を称えます。

2008年10月26日

日本災害情報学会  
会長 阿部 勝 征



# 表彰状

## 2008年廣井賞(社会的功績分野)

(社)電気通信事業者協会  
安全・信頼性協議会所属  
8通信事業者殿

東	日	本	電	信	電	話	(株)
西	日	本	電	信	電	話	(株)
N	T	T	コ	ミュ	ニ	ケー	ションズ
(株)	N	T	T	ド	コ	モ	
K	D	D	I				(株)
ソ	フ	ト	バ	ン	ク	グ	ル
イ	ー	・	モ	バ	イ	ル	(株)
(株)	ウ	イ	ル	コ	ム		

阪神・淡路大震災で電話の輻輳状態が何日も続いたことをきっかけに、1998年、NTTの固定電話による『災害用伝言ダイヤル(171)』が運用開始されました。以降、表記の各社もそれぞれのメディアの特性を生かし、『災害用ブロードバンド伝言板(web171)』、『携帯・PHS版災害用伝言板サービス』を提供するようになりました。

これらの伝言サービスは、その後相次いだ災害で安心情報ツールとして効果を発揮するとともに、今後心配される大規模災害での社会的混乱の軽減におおいに役立つものと期待され、関係各社の継続的な取り組みは、災害情報分野において顕著な貢献をなすものと認められます。

よって、ここに日本災害情報学会2008年廣井賞(社会的功績分野)を授与し、その栄誉を称えます。

2008年10月26日

日本災害情報学会  
会長 阿部 勝 征

